

社員さんのモチベーションアップは、仕事観の確立にある！

社員さんのモチベーションアップに、成功するか否かが、経営の安定と発展を決定すると言っても過言ではありません。

そのために多くの社長は、社員さんを高額な研修に参加させ、あるいは有名なコンサルタントを招聘し、多大な費用と時間を使っておられます。

果たして、これで期待する成果は上がったのでしょうか？

社員さんは、仕事が楽しくなったのでしょうか？

社員さんの、働き甲斐は増したのでしょうか？

社長は、社員さんのモチベーションアップの研修に使う時間と費用があつたら、“仕事観を確立”するためにこそ、時間と費用を使うべきです。

社長は、待遇・給与・賞罰等の、外発的動機付けによるのではなく、仕事観・やり甲斐・感動・喜び等の、内発的動機付けに、重きを置くことです。

お金のために働いているのではない、仕事が楽しいから働いているのだ。

仕事が楽しいとは、自分の仕事を通じて人に喜んでもらい、社会に貢献しているという実感があることである。「楽でない仕事を、楽しくやる」意識になれば、仕事が苦痛ではなくなり、時間の感覚まで忘れて、仕事に没頭することになります。

お金のために働いているのではないのに、その成果が給料・賞与の昇給となり、経済的にも豊かになるという、プラスのスパイラルにはいります。

仕事に行き詰まり、つまらなくなる人の共通項は、「いったい自分は、何のために働いているのだろうか？」という仕事観の喪失です。

社長は、働くことの喜びを、全社員さんに知ってもらうことです。

このことは、社長自身が、社長の言葉で、社長自身の全人生を懸けて語るしかありません。この最重要な“肝”を、外部に依頼したり、他人に語ってもらっても意味がないのです。場合によっては、逆効果になるのです。

社長、上手にしゃべる必要はありません。誠心誠意であればいいのです。熱意だけは、誰にも負けなければいいのです。知識が知恵に変換されればいいのです。

社長、9月に入りました。後半戦を、是非「仕事観の確立」に充ててください。

社員さんの目は輝き、生き活きと働き、社長の期待に応えてくれます。



今月のポイント

100年企業の社長の心得